

加古川市における下水道管渠の維持管理状況及び緊急点検について

加古川市の下水道管渠は昭和 38 年から整備しており、現在、総延長は 1,115 km となっています。整備してきた管渠が老朽化していく中、日常管理として定期的な点検を実施するとともに、ストックマネジメント計画に基づき、調査及び改築・更新を進めています。

これらの取り組みにより、下水道管渠の健全性を維持し、下水道管渠に起因する陥没等の大きな事故の未然防止に努めています。

このたび、埼玉県八潮市で発生した下水道管渠の破損に起因する道路陥没事故を受け、本市上下水道局においても、事故原因と思われる条件を想定した上で、同様の事故が発生する可能性がある下水道管渠の緊急点検を実施し、異常がないことを確認しました。

1. 日常管理における既設管調査（巡視・点検）の概要

(1) 対 象

全ての污水管渠（延長 1,115 km）

(2) 内 容

① 巡視：マンホール蓋の劣化及びその周辺の舗装のくぼみやひび割れの確認

② 点検：マンホール蓋の開閉状況やマンホール内部及び管口の調査

(3) 実施状況

重要度に応じて 5～15 年（腐食しやすい箇所や重要施設は 5 年）に一度点検を実施
巡視・点検の結果に基づき、状況に応じて清掃、カメラ調査、修繕等を実施

2. 詳細な管内調査の概要

(1) 対 象

全ての污水管渠（延長 1,115 km）

(2) 内 容

マンホール内部の調査、管渠内部の調査（カメラ又は目視）

(3) 実施状況

重要度やリスクを踏まえた調査優先度により順次実施（ストックマネジメント計画に基づく調査）

① 令和 6 年度：約 4.5 km（加古川下流浄化センターに接続している幹線等）を調査

⇒ 緊急を要する異常はなかった

② 令和 7 年度：約 7.0 km（令和 6 年度の調査箇所の上流等）を調査予定

⇒ 調査結果に基づき、緊急度に応じて改築・更新を実施する

3. このたびの陥没事故を受けて実施した緊急点検の概要

(1) 腐食しやすい箇所の点検（2/4～2/6）

圧送管路の吐出し先となるマンホール（47 箇所）を開けて目視により点検

⇒ 異常無し

(2) 幹線管渠の巡視（2/5～2/6）

口径 2,000 mm 以上の管渠（延長約 16 km）直上の路面状況を巡視

⇒ 異常無し

※ 緊急点検の結果を上下水道局ホームページに掲載（2/7）

緊急点検状況

